

1115	国際福祉論		
英名科目名	Society and Welfare in Asia		
大学名	佛教大学		
連絡先	学生支援課 TEL 075-491-2141(代)		
担当教員	森脇 祐一(非常勤講師)		
開講期間	2021年09月20日(月)~2022年02月10日(木) 2講時 10時40分-12時10分(毎週金曜日) 最終週は定期試験週		
	なお、以下の日程は授業日ではありませんので注意してください。 2021年9月23日(木・祝) 秋分の日 2021年11月1日(月)~11月3日(水) 学園祭開催の為 2021年11月23日(火)~11月25日(木) 公募制推薦入試の為 2021年12月24日(金)~2022年1月7日(金) 年末年始休暇の為 2022年1月10日(月・祝) 成人の日 2022年1月14日(金) 大学入学共通テスト準備の為 2022年2月1日(火)~2月3日(木) 一般入試A日程の為		
開講形態	後期・秋学期	開講曜日・講時	金曜日 2講時
単位数	2	履修年次	2年次以上
会場	紫野キャンパス		
授業定員			
単位互換生定員	10	京カレッジ生定員	
試験・評価方法	・定期試験(教室)70% 到達目標 についての到達度によって評価する。 ・授業内発表 30% 授業中のワークショップの発表内容によって評価する。		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料			
別途負担費用			
その他特記事項			
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			

講義概要・到達目標			
<p>授業のテーマ 発展途上国の貧困と国際協力NGOの活動 ーフィリピンを事例にしてー</p> <p>授業の概要 日本における社会福祉の動向をふまえ、海外諸国の生活実態、社会福祉の制度・実践について多角的に学び、国際的な社会福祉のあり方を広く理解する。</p> <p>授業の目的・ねらい 発展途上国の貧困問題に関心を持つ受講生が、以下の諸要素を理解することにより、今後具体的な行動を行う際に振り返って参考にすることができるポイントを提供したい。</p> <p>貧しい生活を余儀なくされている人たちは具体的にどんな問題を抱えるか 貧困が再生産される原因：属人的な要因のみならず、歴史的・社会経済構造的な要因の観点から考える 支援を行うに当たって考えるべきこと：NGOの実施する支援活動がはらむいくつかの問題について認識することを通じて、当事者(支援される人たち)と非当事者(支援する人たち)とが作り出す(べき)関係について考える NGO/NPOの意義と限界：企業、国家とは異なる位相で重要な役割を果たすNGO/NPOの意義と、その限界について考える</p> <p>到達目標 貧しい人たちの抱える問題を捉えるための諸概念を理解し、具体的な状況を自分で整理し捉えることができるようになる</p>			

<p>貧困の再生産の原因を歴史的・社会経済構造的に捉えることができる</p> <p>貧しい人々と支援する人々の間にはらまれる問題を理解し、両者のあるべき関係を考えるための視点を得る</p> <p>企業や国家と異なる意義と限界を持つNGO/NPOの独自の役割を捉えることができる</p> <p>授業時間外の学修(予習・復習等)についての具体的な指示</p> <p>・予習としては、参考文献を少なくとも1冊は読んだ上で授業に臨むようにしてほしい。</p> <p>受講にあたっての留意事項</p> <p>・ワークショップを複数回実施する。グループディスカッションを行う予定であるが、積極的に参加してほしい。</p>	
講義スケジュール	
<p>毎回の授業のテーマ・内容</p> <p>第1回 ・授業の目的・目標・構成および成績評価について ・自己紹介・団体紹介 ・途上国の貧困の実際(1)：都市スラムドキュメンタリービデオの視聴</p> <p>第2回 ・途上国の貧困の実際(2)：ワークショップと都市の貧困問題の整理</p> <p>第3回 ・フィリピンの概要 ・フィリピンの貧困の原因(1)：農村の貧困</p> <p>第4回 ・フィリピンの貧困の原因(2)：近代植民地支配</p> <p>第5回 ・フィリピンの貧困の原因(3)：近代植民地支配(続き)</p> <p>第6回 ・フィリピンの貧困の原因(4)：戦後の政治的独立と経済発展の試み</p> <p>第7回 ・NGOの支援について(1)：ワークショップ、チャリティとエンパワメント</p> <p>第8回 ・NGOの支援について(2)：チャリティとエンパワメント</p> <p>第9回 ・NGOの支援について(3)：フィリピンと日本</p> <p>第10回 ・NGOの支援について(4)：ワークショップ、文化の違い</p> <p>第11回 ・NGOの支援について(5)：文化の違い、パワーの違い</p> <p>第12回 ・NGOの支援について(6)：ワークショップ、戦争の歴史と記憶</p> <p>第13回 ・NGOの支援について(7)：ワークショップ、豊かさと犠牲</p> <p>第14回 ・まとめ ・アクセスとは、その他のNGOについて ・NGO/NPOの意義と限界</p> <p>第15回 ・試験</p>	
教科書	<p>購入すべきテキストはない。</p> <p>講師による下記ブログを参照のこと。ブログは15ページに分載されている。</p> <p>下記URLはその最初のページとなる。</p> <p>http://kokkyowokoete.hatenablog.com/entry/2017/06/03/183106</p>
参考書	<p>書名：現代フィリピンを知るための61章 著者：大野拓司、寺田勇文(編著) 出版社：明石書店</p> <p>書名：フィリピンー急成長する若き「大国」 著者：井出穰治 出版社：中公新書</p> <p>書名：バナナと日本人 著者：鶴見良行 出版社：岩波新書</p> <p>書名：フィリピンBC級戦犯裁判 著者：永井均 出版社：講談社選書メチエ</p> <p>書名：物語 フィリピンの歴史 「盗まれた楽園」と抵抗の500年 著者：鈴木静夫 出版社：中公新書</p> <p>現在でも入手しやすい、フィリピンに関する入門書的な文献を挙げた。全て読む必要はない。手に</p>

取ってみて関心の持てる本をまずは読んでみてほしい。

- ・「現代フィリピンを知るための61章」はフィリピンを広く浅く知るうえで便利。
- ・「フィリピン—急成長する若き「大国」」は2017年の出版。フィリピン政治経済の今を知ることができる。
- ・「バナナと日本人」は少し古いが、バナナを通して日本とフィリピンの関係を捉えた古典的名著。
- ・「フィリピンBC級戦犯裁判」は第二次大戦中、日本軍がフィリピンで何をしたかを知ることができる。
- ・「物語フィリピンの歴史」は他国の支配に抵抗してきたフィリピン民衆の闘いに焦点を当てる。「途上国の貧しい人は弱者」というイメージを持っている人に読んでほしい。